

戦後70年に映画はいかに向き合うか ～転機に立つ映画界において成り立つ映画運動とは～

私たち日本映画復興会議は、日本映画の文化的・産業的復興と民主的な再生をめざして活動を進めています。

戦後70年を迎えた今年、政府による集団的自衛権の行使容認に端を発し、国会では戦争に前のめりになった法整備が進められ、改憲への道筋がつけられようとし、沖縄の基地問題も深刻化するなど、日本は先の大戦への反省を忘れ、再び大きな過ちを犯す危険な道へ踏み込もうとしています。同時に、原発の「安全神話」が、福島への反省もなく、再び振りかざされています。このような状況にあって、映画に何ができるのでしょうか。

この数年で、映画館のデジタル化がほぼ完了しました。そのなかで映画を成り立たせるための、さまざまな条件が大きく崩れてきましたが、具体的にどのような問題が起きているのかは十分に把握されているとはいえません。日本映画復興会議では、その問題点をなるべく広く提起すべく「映画白書」をまとめました。これらの問題点を踏まえ、いま映画に何ができるのか、パネリストの問題提起を受け、大いに議論したいと思います。

パネリスト

石子 順氏 (映画評論家)、**磯村一路氏** (『おかあさんの木』ほか監督)

中野理恵氏 (株式会社パンドラ社長、『ゆずり葉の頃』ほか配給)

日時 2015年**6月13日**(土) 10:00～16:00
9:30 開場。途中、昼休みをはさみます

会場 **新宿農協会館 8階大会議室** (新宿駅南口より徒歩5分)
東京都渋谷区代々木 2-5-5

●同日開催 日本映画復興賞贈呈式&祝賀会

日時 2015年**6月13日**(土) 16:30～19:00

会場 **新宿農協会館 8階大会議室**

◆第32回(2014年度)日本映画復興賞受賞者

日本映画復興賞

- ・高畑 勲監督
- ・大林宣彦監督

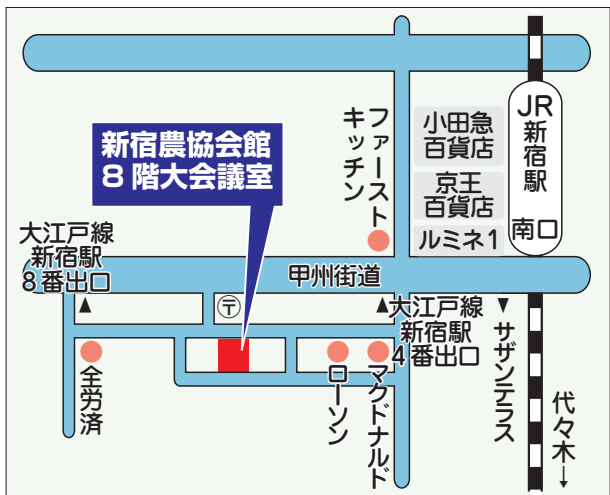
日本映画復興奨励賞

- ・映画『WOOD JOB! ～神去なあなあ日常～』の矢口史靖監督はじめスタッフ一同
- ・映画『アフガニスタン 干ばつの大地に用水路を拓く 治水技術7年の記録』の谷津賢二監督はじめスタッフ一同
- ・映画『ジョパンニの島』の西久保瑞穂監督はじめスタッフ一同

感謝状

- ・故原田由一氏

参加費	
全国集会	1,500円
(討議資料代込み、昼食代は含みません)	
贈呈式&祝賀会	4,000円



日本映画復興会議 <http://nefk.net/>
 東京都文京区本郷 2-12-9-301 映演労連気付
 問合せ: 080-5462-2389 (井上) / Email jimu@nefk.net